

仕様書

1 委託業務名

大型廃棄物処理業務・新たな廃炉ビジネス創出調査業務委託

2 委託期間

契約締結日から令和9年3月31日（水）まで

3 業務目的

本県では令和2年3月に、嶺南地域を中心として、原子力をはじめ再エネを含む様々なエネルギーを活用した地域経済の活性化やまちづくりを目指すことにより、人・企業・技術・資金が集まるエリアの形成を目指す「嶺南Eコースト計画」を策定した。本計画の基本戦略Ⅱでは、県内の発電所から発生するクリアランス相当物の集中処理（確認前溶融を含む）を事業の中心とした原子力リサイクルビジネスの検討を進めているところであり、現在、「福井県原子力リサイクルビジネス準備株式会社」において、クリアランス集中処理事業の事業許可申請を目指し詳細設計などを行っている。

本委託では、廃止措置工事に伴い発生する各種業務への地元企業の参入拡大を図ることを目的とする。具体的には、蒸気発生器等の大型廃棄物の処理事業について、その実現可能性を検討するとともに、地元企業の参入可能性に関する調査を実施する。あわせて、廃止措置の合理化や設備の共用化等により創出される新たな事業についても同様の調査を行う。

4 業務内容

上記目的を踏まえ、以下内容について調査・検討を行う。

（1）大型廃棄物処理事業に係る実現可能性調査および地元企業参入可能性調査

大型廃棄物の処理事業における実現可能性および地元企業参入可能性について調査を行う。なお、調査にあたっては、必要に応じ原子力事業者、メーカー等にヒアリングを行うこと。

- ・蒸気発生器をはじめとする大型廃棄物について、種類や個数、処理に要する期間および費用について整理を行う。
- ・大型廃棄物の解体や処理において必要な技術や設備、地理的要件について整理する。また、処理や運搬をする上での規制上への課題や、安全対策を含めた実施条件についても整理を行う。整理に当たっては、クリアランス集中処理事業との連携可能性も含めて整理する。
- ・事業実施におけるイニシャルコスト・ランニングコスト、収益性、従業員数、事業の安全性や将来性などを整理し、ビジネスモデルが構築できるか検討する。
- ・地元企業が今後参画するために必要な技術や知識を整理し、検討したビジネ

モデルへの地元企業の参入可能性も調査する。

(2) 新たな廃炉ビジネス創出調査

クリアランス集中処理事業に続く新たなビジネスの創出に向け、事業内容および実現可能性等について調査する。なお、調査にあたっては、必要に応じ原子力事業者、実施経験を有する事業者等にヒアリングを行うこと。

- ・廃止措置の進展に伴い発生する関連業務について、廃止措置の合理化・共有化など新たなビジネス候補を抽出・整理する。

【候補例】

- 残留放射能調査（サンプル採取・分析・評価）
- 鉄以外（コンクリート等）のクリアランス推定物の処理
- ・抽出された各事業について、業務内容、事業規模、需要規模や現状の実施状況等を整理する。
- ・抽出された各事業を実施する上で必要となる技術や設備、地理的要件について整理する。また、処理をする上での規制面への対応や、安全対策を含めた実施条件についても併せて整理する。
- ・事業実施におけるイニシャルコスト・ランニングコスト、収益性、従業員数、事業の安全性や将来性などを整理し、ビジネスモデルが構築できるか検討する。
- ・地元企業が今後参画するために必要な技術や知識を整理し、検討したビジネスモデルへの地元企業の参入可能性も調査する。

(3) 調査に関する報告（報告書等の作成を含む）

受託者は、業務内容の実施結果等について、報告書を作成し、打合せ等の形式により報告すること。

- ・最終報告は令和9年3月31日（水）までに行うこと。
- ・その他随時発注者から報告を求めることがある。

5 成果品の提出

- ① 報告書（概要版および詳細版、A4版・1部）
- ② 上記のデータを格納した電磁的記録媒体（CD-R等）

6 留意事項

業務実施に当たっては、発注者と必要な協議および打合せを十分行い、その指示に従って業務を進めるものとする。